



発行所 隊友会岩見沢支部
 編集 陸上自衛隊岩見沢駐屯地
 印刷所 福祉村
 岩見沢市栗沢町最上350
 TEL (0126) 45-2721

いわみざわ

令和6年度演習場春季定期整備



整備隊長（群長）

第12施設群整備隊記念撮影

第12施設群（群長・山下1佐）は、令和6年5月8日（水）から5月16日（木）までの間「令和6年度演習場春季定期整備」を北海道大演習場（島松地区）、孫別演習場及び然別演習場で実施しました。

整備開始に先立ち、整備隊長である群長は開始式で「施設技術の発揮」「安全管理の徹底」の2点を要望し、「各隊員は目標を確立し、それらを着実に実行して、全隊員が一丸となって無事任務を完遂することを期待する。」と述べました。

北海道大演習場（島松地区）では、第398施設中隊（中隊長・神谷1尉）が10号道の装軌車道路盤強化整備を実施し、720㎡ズリ敷設及び装軌車道を27kmに及ぶ路面成形を実施しました。第399施設中隊（中隊長・松村1尉）は通信中継所拠点整備支援として骨材敷設及びカナフレックスの設置を実施しました。第400施設中隊（中隊長・中山2尉）は装輪車道整備（路面成形・側溝構築）51.4km、溜めます浚渫、埋め戻し整備を実施しました。また然別演習場では機械力をもって第5旅団を支援し演習場整備に寄与しました。

15日、16日には団整備副隊長、第3施設団高級幕僚の現地指導等を受け、第12施設群の施設技術の高さを再認識していただき、本演習場定期整備を無事に終了しました。

一方、孫別演習場自隊整備では本部管理中隊（中隊長・内城1尉）が外柵整備を担当し、豪雪地帯の岩見沢では雪の重みで支柱の変形、破損及び鉄条網の断線が生じたことから、駐屯地の警備態勢を維持するため早期に補修を実施しました。

11日（土）には、防衛・駐屯地モニター3名が演習場整備の作業を見学され、普段見ることが出来ない隊員の雄姿と、第12施設群の高い施設技術に関心されていました。その後、宿営地に前進し、隊員たちが作る野外炊事の様子を見学していただいた後、作ったカレーライスを食べさせていただき「大変美味しいです。」とのお言葉を頂きました。最後に南恵庭駐屯地の史料館及び売店を見学していただき終了しました。

第12施設群はこれからも第3施設団の基準杭として方面隊の道場化に寄与していくため施設技術の練度維持・向上に努めていきます。



北大演
装軌車道整備（398施中）



北大演
装輪車道整備（400施中）



北大演
10号道装軌車道整備（398施中）



孫別演習場
外柵整備（本管中）



然別演習場
戦車射場拡張工事（400施中）



北大演
通信中継所拠点整備（399施中）



群長褒賞

小柳2曹（本管）
村上2曹（399）
野中2曹（2直支）
佐藤3曹（398）
福田2曹（400）



団長褒賞

引地2曹（本管）
西野3曹（398）
富所2曹（399）
左館2曹（400）



モニター様と群長の記念撮影

第12施設群（群長・山下1佐）は令和6年5月20日（月）～24日（金）の間「第398施設中隊（中隊長・神谷1尉）及び第399施設中隊（中隊長・松村1尉）訓練検閲」を実施しました。

訓練検閲開始に当たり統裁官（群長）として「任務の完遂」「安全管理の徹底」の2点を要望しました。各中隊の任務は「全般支援任務を付与された施設中隊の行動」であり当初20日から22日の朝までは、岩見沢駐屯地及び孫別演習場で「重要防護施設の防護」任務にあたり施設への出入者等や車両の点検を自衛隊の権限や武器使用規範に基づいた行動を確実に行いました。

22日の朝から各中隊は北大演に移動して当初、偽集結地へ進入して車両や指揮所等のデコイを構築し、じ後、中隊本部を主体に別の地域に夜間移動し集結地を占領しました。

第398施設中隊の小隊（小隊長・高木3尉、安井曹長）は各種陣地（4.5型近SAM用軽掩蓋掩壕×1、2.5型指揮所用簡易掩蓋×1、近SAM用露天掩体×3、人員用退避壕×2）を構築しました。

第399施設中隊の小隊（小隊長・西海2尉、長谷川3尉）は障害構成（大規模地雷原×2、対戦車壕190m×1、道路閉塞×1）及び障害処理（92式地雷原処理車）を実施しました。

各中隊は与えられた任務を施設科としての執念と実行力をもって完遂しました。今後も施設技術の向上と高度な練度を保持するべく日々練磨し精強な施設科中隊を創りあげていきます。



施設警備（398）



84RR射撃動作（398）



施設警備（399）



MINIMI試射（399）



4.5型軽掩蓋掩壕（398）



重材料運搬（398）



先行班の偵察（399）



地雷原処理をするMBRS（399）



屋根型鉄条網構築（399）



地上設置型構築物（398）



油圧ショベルの特性を説明（398）



2.5LPの枕材設置及び本体部構築（398）



土嚢を使用した排水設備（399）



屋根型鉄条網と底鉄条網の複合化障害（399）

第12施設群（群長・山下1佐）は令和6年4月15日（月）～18日（木）の間「令和6年度方面施設技術集合訓練」を担任実施しました。本訓練の目的は、方面直轄部隊及び師・旅団の施設科隊員に対して、陣地構築、障害構成及び交通作業に関する基本的技能の普及と陣地構築能力の向上を図るものです。

第398施設中隊（中隊長・神谷1尉）は「地上設置型構築物（LP）」、「指揮所用簡易掩蓋掩壕（2.5LP）」、「施設器材（油圧ショベル、中型ドーザ）」の教育を担当しました。

「地上設置型構築物（LP）」は、位置の選定、監視方向の選定、本体部の構築等を展示を交えて教育し、「指揮所用簡易掩蓋掩壕（2.5LP）」は安息角を考慮した位置の選定、枕材の設置要領、本体部の構築までを実習を主体として実施し、「施設器材」の教育では各器材の特性、能力、安全管理事項等について教育しました。

第399施設中隊（中隊長・松村1尉）は「排水設備の維持・補修」、「蛇腹鉄条網の構築」及び「屋根型鉄条網の構築」を担当しました。

最初に全般説明をしたのち実施した屋根型鉄条網の構築実習では底鉄条網と複合化することで障害効果を増大させる要領について施設科的見地から教育を行いました。

令和6年度方面施設技術集合訓練

土嚢を使用した排水設備の維持・補修の設置要領を展示・説明したのちに実習となり、千鳥に土嚢を積上げるのに苦労する隊員も見受けられました。

群は日本最大の施設科部隊第3施設団の基準杭としての、これからの技術の練磨と研究心を邁進して行きま

第12施設群最先任上級曹長交代

令和6年4月1日(月)、第12施設群(群長・山下1佐)は、最先任交代式及び最先任離着任行事を実施しました。まず始めに交代式において群長は、離任する第8代最先任上級曹長 田岡准尉の紹介において、「令和4年度群訓練検閲を始め各種訓練において、常に実践を意識した基礎動作を念頭に、積極的な現場進出を図り、任務の特性に応じた的確な隊員への指導により群の任務達成に貢献する等、在任間における数々の功績に対して重ねて敬意を表すとともに、今後益々の発展と活躍を祈念する。」と述べられました。

次に、着任する第9代最先任上級曹長 西原准尉の紹介において、「温厚な人柄であり、曹士諸官の良き指導者として能力を発揮してくれるものと確信し、曹士の活模範として上級曹長制度の目的及び趣旨に沿った善導により、陸曹の積極的かつ主体的な任務遂行のための意識改革・活性化を期待するとともに、本職の要望事項である「挑戦」「信頼」を具現徹底して「上位下達 下位上達」を旨とし、第12施設群の精強化に前進してくれることを期待する。」と述べ、最先任交代式を終了しました。

その後、最先任離着任行事が准曹士隊員が注目する中で行なわれ、田岡准尉は、「離任するに当たり、上番以来、約2年間「協力」を呼びかけ、群長を始めとする関係上司・同僚・後輩のみなさんの協力のおかげで群は成長できたと感じています。

これからもみなさんが群の核心となり、各人の地位・役割を踏まえた自身のあるべき姿を考えるとともに、群長企図を具体化し任務を達成するために、皆さんの心を1つにし、力を合わせて任務を遂行して下さい。

そして新たな態勢になりますが、新最先任を核心とし、更なる精強12施設群を築き上げるとともに、上級曹長制度を引き続き活性化できるよう宜しくお願いします。」と述べ、西原准尉へ識別章を引継ぎ、田岡准尉は、会場を後にしました。

着任した西原准尉は、「上級曹長制度が施行され約10年が経ち、歴代の先輩最先任が築き上げてきた歴史や伝統を継承すべく努力していく所存です。

各人が自分の地位・役割の中で、あるべき姿を自ら考え、自ら学び、失敗を恐れず積極的に行動に移し、問題を克服して行くことが、任務達成には重要です。

そのため、要望に「成長」を掲げ、皆さんが日々問題意識をもって訓練等に臨み、私自身も皆さんと向き合い、共に考え、自らを律して、皆さんを感化できる存在になれるよう成長していきます。

また、伝統を継承し精強な第12施設群を一緒に築き上げて行きましょう。」と力強く述べました。第12施設群は、群長を核心とし、新たな態勢で、さらなる精強化に日々邁進してまいります。



群長より紹介



握手を交わし交代



西原准尉 田岡准尉



集合写真



作業の様子



整備後の道路

岩見沢駐屯地(司令・山下1佐)は、6月5日(水)「いわみざわ環境週間」及び国が定める「環境月間」における美化活動として道路の除草作業を実施しました。この活動は岩見沢市が実施する持続可能な脱炭素社会づくりに向けた活動の推進及び団体活動、事業活動への意識を育むことを目的としており、岩見沢駐屯地としてボランティア活動として参加したものです。活動には曹友会99名、修親会30名、計129名の隊員等が参加し、当初、曹友会長(松永准尉)による安全教育及び各作業場所・作業内容の説明を実施した後、岩見沢駐屯地正門前の道路(道道岩見沢桂沢線)の草の除去及びゴミの回収を実施しました。岩見沢駐屯地は環境美化期間に関わらず、常日頃から環境美化に努め、地域からの理解と信頼を深めるとともに、更なる連携を図ってまいります。

「いわみざわ環境週間」及び国が定める「環境月間」における美化活動としての道路の除草を実施

隊友会だより

令和6年度岩見沢支部定期総会と懇親会の実施

(1) 隊友会岩見沢支部は新緑の好天に恵まれた5月25日(土)、市内のホテルにおいて、総会出席30名、委任83名の合計113名の会員参加の下に令和6年度定期総会を開催しました。

総会は国歌斉唱、物故会員5名への黙祷、藤原支部長の挨拶の後、令和5年度事業(会計決算)報告、6年度事業計画(会計予算)案について事務局より担当役員から説明報告が行われました。出席会員一同約1時間にわたる真剣な審議の結果、会議案原案通り承認・可決されました。

総会の最後には支部入会后5年間にわたり支部活動に功労のあった10名の会員へ支部長より表彰状が授与されました。



総会開始時の様子

(2) 総会終了後は恒例により懇親会を実施しました。会員32名、部外からは松野岩見沢市長、渡辺衆議院議員、募集相談員会長、家族会会長、市議会議員、岩見沢駐屯地からは駐屯地司令兼ねて12施設群長 山下1佐、業務隊長等の駐屯地の指揮官幕僚・先任上級曹長等の21名、合計53名の参列を得て盛会に開催することができました。

来賓の祝辞の中では、平素から駐屯地と市民のかけ橋として地道に活動を続ける隊友会支部会員へ期待と感謝の意が述べられました。祝宴の各テーブルでは、部外の来賓の方を含め会員と現職との間で生活や仕事上の悩み相談などの会話で非常に盛り上がった状況が見られました。

最後に会員と岩見沢駐屯地部隊、来賓の方々ともに益々の健勝と活躍を誓い合い松平業務隊長による万歳三唱をもって終了しました。



懇親会参加者集合写真



司令 渡辺副大臣
渡辺総務副大臣と真剣に会話する司令



副群長 市議会議員 家族会支部長
副群長、市議会議員と楽しく懇談する家族会支部長

岩見沢駐屯地の実施する夏の交通安全運動への参加 隊友会岩見沢支部

隊友会岩見沢支部は7月17日(水)の早朝、駐屯地の実施する夏の交通安全運動(7月13日~22日)にちなみ岩見沢駐屯地前にて部隊と合同で「旗の波作戦」を実施しました。

支部隊友7名は岩見沢駐屯地正門前を走る道道岩見沢桂沢線沿いにて、駐屯地隊員とともに通過する車両に交通安全をよびかける黄色の「交通安全旗」の旗振りを実施して安全運転の呼びかけを行いました。本行事は全国的な交通安全運動の実施に基づき、岩見沢駐屯地が行っているものです。駐屯地前の道路を通過する車両に対して安全運行啓発の旗振りを力強く行いました。

約30分間の短い時間ではありましたが、年齢56歳から75歳までの隊友は元気に旗をはためかせました。通行した車両約260台の中には笑顔で旗振りに応えるドライバー・同乗者がおり意義のある運動となりました。本行事参加を通して支部は、岩見沢駐屯地とともに飲酒運転根絶・シートベルトの全席着用等交通安全意識の向上に寄与する事ができました。

また、啓発運動を終了して隊内に戻る際、営門付近の道路上にて、約20人の部隊が戦闘服姿で一丸となり女性隊員の大きな号令の下、全員元気に間稽古をしてる姿に出会いました。隊友は若かりし頃を思い出し深い感動を覚えめました。そして駐屯地の精強さを確認できました。



「旗の波作戦」記念撮影

隊友会岩見沢支部

防衛省 職員 家族 団体傷害保険
 <総合賠償型・観介補償型(特約)オプション>
 <団体長期障害所得補償保険「長期所得安心くん」略称:GLTD>
 防衛省 退職後 団体傷害保険
 防衛省 共済組合 がん保険
 <お見積・資料請求 http://webby.afec.co.jp/bouei/>
 防衛省 共済組合 火災保険
 ☆ その他各種の損害保険
 【取扱代理店】 弘済企業株式会社
 詳しくは、下記の駐屯地保険常駐員にご相談ください。
 岩見沢駐屯地: 西野 孝一 0126-22-1001(内線338)

Pub
 あおき
 岩見沢市2条西2丁目
 ☎0126-24-8085

株式会社
 TKK トッキュウ
 Tokkyu
 物流・・・
 それは“まごころ”のネットワーク
 本社 〒068-0115 岩見沢市栗沢町最上498-9
 TEL 0126-45-2792 FAX 0126-45-3053
 http://www.tokkyu-group.jp
 (札幌/札幌北/苫小牧/仙台/福島/関東/中部/大阪)

SNACK

 北の国から
 飲み放題 3300円(5名様から)
 岩見沢市3条西2丁目NCCビル4F店主平井
 ☎0126-(22)-8873

千葉電気工事株式会社
 代表取締役 千葉賢司
 岩見沢市東山10丁目6番3号
 電話(0126)24-4567番

婚礼や宴会は・・・平安閣で

 Yamazawa Heiankaku
 岩見沢 平安閣 岩見沢市5条東2丁目
 TEL.0126-23-4581
 ☎0120-20-1143

Electric Life Creator
 SOIDEN
 省エネ・節電のスペシャリスト
 株式会社 創電
 本社 岩見沢市大和2条2丁目17番地
 TEL.(0126)22-1434(代) FAX.(0126)24-9155
 札幌営業所/札幌市内別荘別荘2条2丁目3番14号SDビル3F
 TEL.(011)895-7755 FAX.(011)895-7701
 三笠営業所/三笠山いちきり16-8
 TEL.(0126)73-1141 FAX.(0126)73-1186

EVENT HALL
 駅東市民広場
 イベントホール赤れんが
 多彩な催しにご利用いただける施設です。
 お気軽にお電話ください。☎0126-22-5871
 岩見沢市有明町南1番地14
 株式会社 振興いわみざわ
 代表取締役 五十嵐 一朗

Hotel SunPlaza

 HOKKAIDO GREEN LAND
 Hotel SunPlaza

明治安田生命から、
 明治安田へ。
 岩見沢駐屯地担当
 赤間 紗織 070-4894-9926
 樋口 詩織 070-4894-9786
 小林 美香 070-4894-9927

自衛隊退職者雇用協議会
 岩見沢支部
 事務局: 岩見沢商工会議所内
 支部長: 松浦 淳一
 TEL: 0126-22-3445

【防衛省岩見沢駐屯地担当者】
 小川 恵子

 HELLO KITTY
 © 2023 SANRIO CO., LTD.
 APPROVAL NO. L636298
 富国生命保険相互会社 (共栄火災 代理店)
 札幌支社 岩見沢営業所 (セコム損害保険 代理店)
 〒068-0024 岩見沢市四条西 8-1 ヤマシチ 4.8ビル 2F
 TEL: 0126-23-1971 FAX: 0126-23-1974
 未来のとびら
 人と人の間に
 100年 フコク生命
 THE MUTUAL
 ⑧広-003-0011 (2023.8.1)

鋼材・鉄骨工事・サッシ・シャッター・セメント・生コン・各種パイプ・配管資材・
 衛生陶器・家庭金物・日曜大工材料・ハウスリフォーム
 株式会社 柿本商店
 〒068-0006 岩見沢市6条東14丁目6番地
 TEL 0126-23-3939 FAX 0126-23-0648

タクシーのご用命は親切丁寧
 T.0126-25-2121
 にご用命ください
 日の出交通株式会社
 岩見沢市大和2条9丁目19-5

エックス Instagram ホームページ

 

 
 Instagram

 

人 事 往 来

昇 任

異 動

【第12施設群】

1等陸尉
市川 紘基 (群本部)
香田 悠渡 (群本部)

2等陸尉
岩下 栄市 (本管中)

准陸尉
武田 和也 (本管中)
川原 大輔 (398施中)

陸曹長
菅原 賢二 (本管中)

1等陸曹
岡村 健吾 (本管中)
花田 亮平 (398施中)
土山 智大 (400施中)

2等陸曹
沖垣 大樹 (本管中)
富士原健児 (398施中)
大伏 涉 (399施中)
加藤 亮介 (399施中)

3等陸曹
岩井 祐樹 (398施中)
佐藤 令一 (398施中)
(以上、7月1日付)

陸士長

井上 朱生 (398施中)
丸山 響輝 (398施中)
佐野 絹人 (399施中)
橋迫 一樹 (399施中)
(以上、4月1日付)

【第101施設直接支援大隊第2直接支援中隊】

陸曹長
岩城 諒匡 (4月1日付)

1等陸曹
山本 斉右

2等陸曹
鈴木 貴裕
則政 税

【岩見沢駐屯地業務隊】

陸曹長
川口 忠利
竹林 剛
(以上、7月1日付)

★転 出★

【第12施設群】

群本部

1尉 松枝 秀治 (西方総監部・健軍)

2尉 長谷川洋介 (札地本・岩見沢地域事務所)

第399施設中隊
1曹 甲斐 隆之 (俱知安業・俱知安)

第400施設中隊
3尉 藤巻 修 (12施隊・新町)

【第101施設直接支援大隊第2直接支援中隊】
曹長 坂梨 仁 (101直支大隊本・南恵庭)

2曹 堀 敏也 (東北後支301普・多賀城)

【岩見沢駐屯地業務隊】
2佐 松平 実 (教育研究本・目黒)

1尉 上原裕三 (北方総監付・札幌)

2尉 佐藤友一 (52普連・真駒内)

【第314基地通信中隊岩見沢派遣隊】
2曹 荒尾 友貴 (314基通中・苗穂)

1尉 森 彩羽 (314基通中・真駒内)

2尉 三田 源樹 (札地本・真駒内)
(以上、7月31日付)

★転 入★
【第12施設群】
群本部
3佐 島崎 祐樹 (1施団本・古河)

本部管理中隊
曹長 傳法 教史 (北方総監付・札幌)

第399施設中隊
1曹 浅野 良典 (3施団本付・南恵庭)

2曹 萩生田和幸 (釧路業・釧路)

【第2直接支援中隊】
曹長 大滝 征人 (101直支大隊本付・南恵庭)

3曹 前田 和馬 (8後支1整大・川内)

【駐屯地業務隊】
2佐 伊藤 寛 (施校・勝田)

1尉 佐藤 広志 (東千歳業・東千歳)

2尉 五十嵐 隆 (別海業・別海)

1曹 大塚 健一 (105器・南恵庭)
(以上、8月1日付)

【第314基地通信中隊岩見沢派遣隊】
1曹 三神 守 (101システム通大・札幌)
(以上、8月1日付)

★駐屯地内異動★

【第12施設群】

本部管理中隊
准尉 森口 恭 (400施中)

1曹 岡本 晃佳 (400施中)

1曹 小山内隆介 (399施中)

1曹 廣部 宗則 (399施中)

2曹 小山 颯太 (398施中)

第399施設中隊
1曹 堤 隆三郎 (本管中)

第400施中
1曹 柴田 和宏 (本管中)

2曹 長谷川 紀 (本管中)

【駐屯地業務隊】
1曹 大山 充 (本管中)

1曹 井深 博久 (400施中)
(以上、8月1日付)

着 任 部 隊 長



岩見沢駐屯地業務隊
隊長
2佐 伊藤 寛
(8月1日付)



本部管理中隊
准尉 長田 聡
(8月1日付)



本部管理中隊
1曹 山本 雅文
(8月1日付)



業務隊
准尉 山田 和人
(8月1日付)



第2直接支援中隊
3尉 片山 英樹
(8月1日付)

定 年 退 官



2直支中 濱野2曹
長女 八重(やえ)ちゃん
R6. 4. 16生

こんにちは赤ちゃん

永年の勤務
お疲れさまでした。